

2018年9月6日

胸部保護具・マスクに関する規定適用時期の変更について(通知)

公益社団法人日本フェンシング協会
審判・ルール委員会

2017年11月のFIEコンGRESSにおいて、FIE競技規則の用具規定(m)が変更となりました。国内においては、2018年12月1日からの全ての大会に適用する予定でした。しかしながら、海外からの入荷の遅れ等諸事情を考慮し、**2019年9月**に開催される全日本個人選手権大会から全ての大会に適用することといたします。変更点について掲載いたしますので、周知の程、よろしくお願いいたします。

(1) 胸部保護具(チェストプロテクター/メタル製や硬い素材製)の着用について

・m.25-4 ジャケット

c) 全種目で胸/胸部保護具(メタル製や硬い素材製)の使用は、女子は義務で男子は任意である。フルーレでは、この胸/胸部保護具は保護用プラストロン(FIEプロテクター800N)の下に着用しなければならない。

またフルーレでは、胸の保護具(プロテクター)は、下記の特色を有する:胸の保護具の外側全体(相手に面している側)は、厚さ4mmで 22kg/m³の密度のE.V.A(エチレン-ビニール、アセテート)のような柔らかい素材で覆われていなければならない。(素材は、現行のプラスチックモデルに取り付けたり、製造業者の新しいプロテクターに組み入れたりできる。)

素材は、上部エッジの中央に SEMI のテクニカルマークを備えていなければならない。

(2) マスクの着用について

・m.25-7 マスク

f) マスクは、マスクの後ろに 2 つの異なる安全システムを備えており、そのシステム(バンドまたはストラップ)の両端がマスクの両側に固定されていなければならない。この安全システムは、SEMI 委員会によって認可された下記の条件を満たしていなければならない。

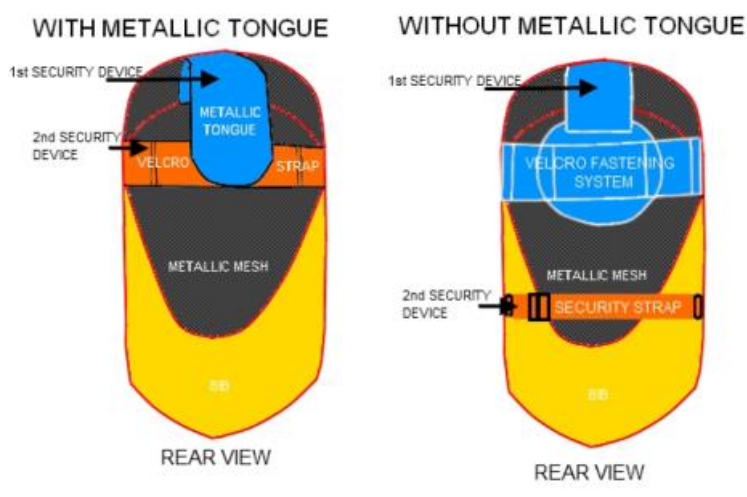
【メタル・タング付きマスク】

- 中央のバンド(ストラップ)は、幅 45mm 以上でなければならない。
- バンドの位置は、マスクが滑り落ちない事を確実にするように、頸部区域の後ろを横切る十分に低い位置に取り付けられていなければならない。
- バンドは、丈夫な素材でなければならない、また伸張時に永久的な造型上の変形を持続してはならず、迅速に元の形とサイズに戻らなければならない。
- 固定システムは2重でなければならない、即ち2重の安全確保システムで締められていなければならない(ベルクロが少なくとも2回接着されていなければならないという意味である)。
- ベルクロは、最低限750N/cmの強度を備えていなければならない。
- ベルクロで取り付けられているバンドは、同じ強度を伴ってマスクの両側に固定されていなければならない。

【メタル・タングを伴わないマスク】

- 主要なバンドの位置は、マスクが滑り落ちない事を確実にするために十分に低くければならず、正しい位置は製造業者によって決定されなければならない(基本的には 25/30mm)。
- バンドは3ヶ所の固定点を含まなければならない。
- 既にある磁気ストラップは、依然として必須である。

下記の図にある例を参照の事：



上図は指導目的のためだけである。疑問のある場合は当該テキストの表現が優先する。

以上